

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツコミュニケーションスクールカラフル・金沢もりの里（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年2月18日		2025年2月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年2月18日		2025年2月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムについて	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの興味関心。発達段階に応じたプログラムをチームで立案しています。 ・月に1度、プログラムミーティングを実施し、プログラム内容の検討改善について検討している。 ・トークン制度を取り入れ、お子さまが楽しく取り組めるプログラムを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで目標を設定し、できたを積み重ねることで、達成感を味わい、自信をつけられるよう支援します。 ・ご家庭での様子や課題、要望などを共有したり、プログラムの目的や目標についてご家族と共有連携して支援を行います。
2	・子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画に沿った支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さま一人ひとりの興味関心、得意なこと、苦手なこと、課題などを丁寧に把握し、個別支援計画に反映させます。 ・個別支援計画に基づき、お子さま一人ひとりの目標を設定し、目標達成に向けた活動プログラムを作成しています。 ・集団活動での課題克服のための練習やサポートを個別で対応します。個別に課題克服のための練習や指導を行い、再度集団活動に参加し、課題を実践します。活動後、課題の改善状況を評価し、フィードバックを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に適した、安全で快適な環境を整備します。 ・職員の支援の向上を目指し、勉強会や研修会を実施します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流機会、地域に開かれた事業所運営が不足していることについて	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年5月に現事業所に移転してきたこともあり、地域との交流・連携はこれからの課題であると考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや活動に積極的に参加するだけでなく、利用者自身が企画・運営するイベントを開催するなど、多様な交流機会を創出します。 ・高齢者施設との交流会や、清掃活動への参加などを行います。
2	・保護者同士の交流機会や家族支援プログラムのや家族等の参加できる研修の機会が不足していることについて	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が参加交流ができるイベントの企画ができていない。人員配置等を整えて実現できるようにしていきます。 ・職員の専門性向上を図るための研修を実施します。 ・専門職を配置します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観会や、保護者交流会、親子イベントなど、保護者が参加できるイベントの開催を企画します。 また、ペアレントトレーニングや保護者向け研修会などの開催も企画し、保護者のニーズに応じた開催方法を検討しています。
3	・関係機関や保護者との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有ツールの活用など、情報共有の仕組みを構築していきます。 ・関係機関や保護者との定期的な意見交換や情報交換会などを実施し、相互理解を深めます。 ・相談支援専門員さんを通して、学校や他機関との連携を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との定期的な会議や連絡会に参加します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スポーツコミュニケーションスクールカラフル・金沢もりの里校

公表日 年月日 2025年3月3日

利用児童数

39名

回収数

13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	3	・職員の方の資格を有し、役割を担っているのかわからない。	・保護者様が見やすい場所（玄関）に職員紹介を掲示し、職員の情報を明確に表示します。（表示内容：職員の顔写真と氏名、職員の有資格情報、各職員の担当業務、責任者の氏名と役割）
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	3	・事務所の施設が広く子供が安全に過ごせるようにされていると感じます	・引き続き安全対策の改善、徹底を実施していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	11	0	0	2		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	2	1	7		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12		1		・利用者負担の説明が不十分だと思う。	・利用者負担額の一覧表を作成し、事業所内に提示し、保護者様がいつでも閲覧できるように、また必要に応じてご説明いたします。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8		1	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3		4		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		3	・マニュアルがあるとは聞いたが内容は知らない。	・貴重なご意見ありがとうございます。保護者様がいつでも閲覧できるようにマニュアルを設置します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		4	・避難訓練がある日に参加していないので、実際には訓練を受けられていない。 ・利用してまだ日が浅いのでわかりません。	・貴重なご意見ありがとうございます。今後、1人でも多くのお子さまが避難訓練に参加できるような訓練内容や訓練時間帯を複数設定し、参加しやすい時間帯を選べるように改善していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	3			・行ったら楽しんでいるが、家では行き渋っている。	・保護者様と情報の共有、連携をしながら、お子様の不安が軽減されるよう、視覚的な情報提供、トークンシステム等による通所の意欲向上、活動内容の選択肢の提供を行い、お子様が安心できる場所となるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スポーツコミュニケーションスクールカラフル・金沢もりの里校		公表日 2025年3月3日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・プログラム中にお子さん同士の接触が起きないよう活動スペースを分けるように配慮している。 ・活動場所を分けている。	・今後も随時環境整備の見直しを図っていく ・広い方だと思う ・利用人数を減らし、支援を充実させる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	・支援時に全体を把握するようにしている。 ・同時に3プログラムを実施する時があるが職員を2人ずつ配置することができる。	・職員の休みの取りにくさがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	6	・常に掃除・整理整頓・断捨離を心がけている。 ・視覚支援を取り入れ、目で見てわかりやすい掲示をしている。	・鉄筋部分があるので緩衝材で保護していく ・建物の構造上音が反響する。 ・階段の安全対策。 ・防音対策
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	4	・活動場所を分けている。	・建物の構造上、夏は熱くなりやすく、冬は寒いので、対策が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・仕切り等を使い、気持ちを落ち着ける場所を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	・日報を活用しPDCAを実行している。 ・毎日ミーティングを開催し、目標設定、振り返り、改善を繰り返している。	・スタッフ間で共有する時間を作る。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・スタッフMTGで共有している。	・今後いただいたご意見をもとにスタッフで改善案を話し合い、実行していく。 ・保護者様へ申し送りを積極的に実施し話をする機会を持つ。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・ミーティングで活発な意見交換をし業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	・第三者による評価は行っていないが、県アド	・発達障害支援アドバイザー派遣等を活用する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・定期的に全体研修を実施している。 ・研修部が年間研修計画を作成し、それに沿った研修を実施している。	・必要な研修の実施 ・伝達研修の実施
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	・職員間で話し合い、支援プログラムの公表を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・職員間で共有している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・児童発達支援計画書を職員間で共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	・日々のミーティング、支援会議で計画を確認している。	・共有はされているが、実際の支援時に反映されていない時もある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		・標準化され対応の共有がされにくい点 ・確認していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・お子さまの興味関心、発達段階に合わせたプログラムをチームで立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	・月に1度プログラムミーティングを実施し活動プログラムについて検討している。 ・子どもが飽きないように月ごとにプログラムを変更するが、活動定着のねらいもあるため、固定プログラムと併用している。	・発達段階や特性に合わせて、同じプログラムを固定している時もある。 ・その日のプログラム目標を明確にしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・お子さまの発達段階や発達特性に合わせたプログラムを行っている。 ・身辺自立・感覚統合・SST等個別対応を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	・支援の振り返りのミーティングの中で、うまくいった支援、児童のいい行動、できるようになったところ、頑張れたところなどを積極的に話し合い、次回以降の支援につなげていけるよう努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	・児童個々の経過を終えるように記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		・定期的なモニタリング以外にも、保護者に来所頂き、活動を見学・面談等の機会を設け、計画を見直していく必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	2		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・コミュニケーション能力を育むため、プログラムにペアやグループでの活動を取り入れている。 ・子どもの当日の様子や状況を見て無理のない範囲の支援をしている。	・本人の意向を尊重している。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5		・情報交換の機会がないが、今後必要な情報の交換共有はしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2	・学校お迎え時に先生とお話しし情報共有を行っている。 ・学校との直接的なやりとりが困難な場合は、保護者及び相談支援専門員と情報を共有し相互理解を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3		・前例がないので、これからの課題として捉えている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・地域の中核センターとの情報交換、研修等には積極的に参加するようにしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	9		・送迎時に会えない保護者様とは直接お伝えできない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9		・今後実施していく課題である。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・公式ラインを活用し、保護者様が気軽に連絡相談できる体制をとっている。 ・保護者様お迎え時に話を伺っている。また必要に応じてお電話したり、ご自宅に訪問してお話を伺う。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7	・保護者様、ご兄弟児が参加できる運動会を実施した。	・どなたでも気軽に継続的に参加できる親子イベントや父母の会の企画を考えたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・視覚情報による支援やツールを活用している。 ・お子さまがわかりやすい言葉かけを意識している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9		・日程、職員のシフト、安全な開催等、検討課題はあるが、今後取り組んでいきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		・訓練は実施しているが、保護者に詳しく伝えることができていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	・保護者と十分な情報共有をしている。	・職員間で、定期的に子どもの状況の確認をする。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・保護者と十分な情報共有をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	5		・保護者様お迎え時の時間を使って、共有していきたいと考える。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・すぐにスタッフ間で共有、ミーティングを実施し、原因究明と対策について検討実施している。また記録を必ず記載する。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・法人全体の研修会、事業所での定期的な研修を実施している。 ・どんなことが虐待にあたるかなど具体的な事例を話し合い、開かれた意見交換、情報共有の場となるよう努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・職員研修を定期的に実施し、身体拘束の3つの要件について理解し、法人指針を確認している。	